

製品物性表・安全データーでんぷんのりー

注意

この報告書は、本製品(ホントの紙ねんど)で使用している「のり」の品質を証明するものであり本書を他製品の品質書としてコピー・使用、また様々な用途においての無断転用や引用は 固く禁じられております。



製品物性表

製 品 名	MBノール 特殊糊 C-2
表 吅 石	101日ノール 1寸2本4初 - 〇 - 2
外観	乳白色ペースト状
主成分	澱粉
蒸発残分(%)	11~13
粘度(mPa・s∕30°C)	40,000~70,000
Р Н	4 ~ 6
用 途	一般紙工用
	1. 水で任意に稀釈できます。

※上記の数値は代表値であり、規格値としては採用出来ません。

製品安全データシート

製造者情報

製品名

MBノール 特殊糊 C-2

危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類 分類対象外

分類できない 可燃性・引火性ガス

可燃性・引火性エアゾール 分類対象外

支燃性・酸化性ガス 分類できない

高圧ガス 分類できない

引火性液体 分類できない

可燃性固体 分類対象外

自己反応性化学品 分類できない

自然発火性液体 分類できない

自然発火性固体 分類できない

自己発熱性化学品 分類できない

水反応可燃性化学品 分類対象外

酸化性液体 分類できない

酸化性固体 分類対象外

有機過酸化物 分類対象外

分類できない 金属腐食性物質

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分外

急性毒性(経皮) 分類できない

急性毒性(吸入:ガス) 分類できない

急性毒性(吸入:蒸気LC50) 分類できない

急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) 分類できない

皮膚腐食性/刺激性 区分外

眼に対する重篤な損傷/刺激性 区分外

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 分類できない

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 分類できない

生殖毒性 区分外

全標的臓器/全身毒性(単回暴露) 分類できない

定標的臟器/全身毒性(反復暴露)

分類できない

吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性(急性) 区分外

水性環境有害性(慢性) 区分外

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外、区分外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

なし

注意喚起語

til

注意書き

【予防策】 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

容器を密閉しておくこと。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

ミスト、蒸気を吸入しないこと。 環境への放出を避けること。

【対応】 吸入した場合:被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息

させること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合:水と石鹸で洗うこと。

皮慮刺激が生じた場合:医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用し

ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師の診断、手当てを受けること。

【保管】 容器を密閉して涼しい所、換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

組成、成分情報

単一製品・混合物の区分

混合物

化学名成 分

澱粉系接着剤

官報公示整理番号 CAS番号 含有量 13.7%

澱粉等 チアゾリン化合物 2.2-ジプロモー3ーニトリロプロピオンアミド

登録あり 登録あり

0.3>%

水

(2)-2795 10222-01-2

対象外 7732-18-5

86.0%

応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。保温して安静に保つ。速やかに医

師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

付着した衣服、靴を脱ぎ、付着部を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。皮膚刺激が

生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

清浄な水で最低15分間以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断、手当てを

受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師の診断、手当てを受けること。

火災時の措置

消火剂

水、強化液、泡消火剂、粉末消火剂

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の消火方法

このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性であ

る。

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。

容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動できないときは、

容器に水を注水して冷却する。

消火を行う者の保護 消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸保護具を着用し、風上

から消火作業を行う。

漏出時の措置

人体に対する注意事項、保

曝露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触

護具及び緊急時措置

を防止する。 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。

環境に対する注意事項

本製品を含む廃水の公共用水域への排出又は地下浸透を防止するため、本製

品がこぼれた床面などを水で洗い流してはならない。

除去方法

少量の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。

多量の場合は土砂などで流れを止め、バキューム等で汲み上げ回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気 取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取り扱う。

注意事項 設備を密閉化し、蒸気が発生しないように取り扱う。

曝露防止のため、保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を 安全取扱い注意事項

避ける。作業場の換気を十分行なう。

保管

適切な保管条件 凍結、直射日光を避け、涼しい所、換気の良い場所で容器を密閉し保管する。

保管時の温度は5℃以下あるいは35℃以上ならないようにする。

皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。

安全な容器包装材料 不浸透性のもの、腐食、破損のないものを使用する。

暴露防止及び保護措置

設備対策 密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産業衛生学界 未設定

ACGIH 未設定

保護具

呼吸の保護具 着用が好ましい

手の保護具 ゴム手袋

目の保護具 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 作業衣、安全靴

適切な衛生対策 作業中は飲食、喫煙をしない。

物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 ペースト状

色 乳白色

臭い 特異臭

pH 4~6

融点/凝固点 データなし

沸点 約100°C

引火点 データなし

発火点 データなし

爆発範囲 なし

蒸気圧 データなし

蒸気密度 データなし

溶解度 水 水に無限大に希釈可能

オクタノール/水分配係数 データなし

分解温度 データなし

粘度 ペースト状のため未測定

安定性及び反応性

安定性

通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性

特記すべき反応性はない。

避けるべき条件

凍結

混蝕危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

有害性情報

急性毒性(経口 LDso)

急性毒性(経皮 LD50)

急性毒性(吸入:ガス)

急性毒性(吸入:蒸気LCso)

急性毒性(吸入:粉塵、ミスト、LC50)

皮膚腐食性/刺激性

目に対する重篤な損傷/刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的職器/全身毒性-単回暴露

特定標的職器/全身毒性-反復暴露

吸引性呼吸器有害性

含有成分の含有量を勘案して区分外とした。

含有成分の含有量を勘案して区分外とした。

データ不足のため分類できないとした。

データ不足のため分類できないとした。

含有成分の含有量を勘案して区分外とした。

含有成分の含有量を勘案して区分外とした。

含有成分の含有量を勘案して区分外とした。

データ不足のため分類できないとした。

データ不足のため分類できないとした。

データ不足のため分類できないとした。

データ不足のため分類できないとした。

含有成分の含有量を勘案して区分外とした。

データ不足のため分類できないとした。

データ不足のため分類できないとした。

データ不足のため分類できないとした。

環境影響情報

水性環境有害性(急性)

水性環境有害性(慢性)

含有成分の含有量を勘案して区分外とした。 含有成分の含有量を勘案して区分外とした。

廃棄上の注意

- ① 産業廃棄物(廃プラスチック類)として都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
- ② 乾燥して固形状になったものは廃プラスチック類として処理する。
- ③ 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのない事を確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国内規制

特段の規制はない。

国連分類

国連勧告の定義上危険物に該当しない。

適用法令

化学物質管理促進法

該当しない

労働安全衛生法

安衛則第326条 腐食性液体:チアゾリン化合物

毒物及び劇物取締法

該当しない

その他の情報

記載内容の問合せ先

- (1) 危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意してください。
- ② この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡 潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ③ 本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱って下さい。
- ④ ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

参考資料: JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安:

データシート

JIS Z 7252:2014 GHSに基づく化学物質等の分類方法

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス(平成25年7月)

一般社団法人 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン(平成2012年6月)